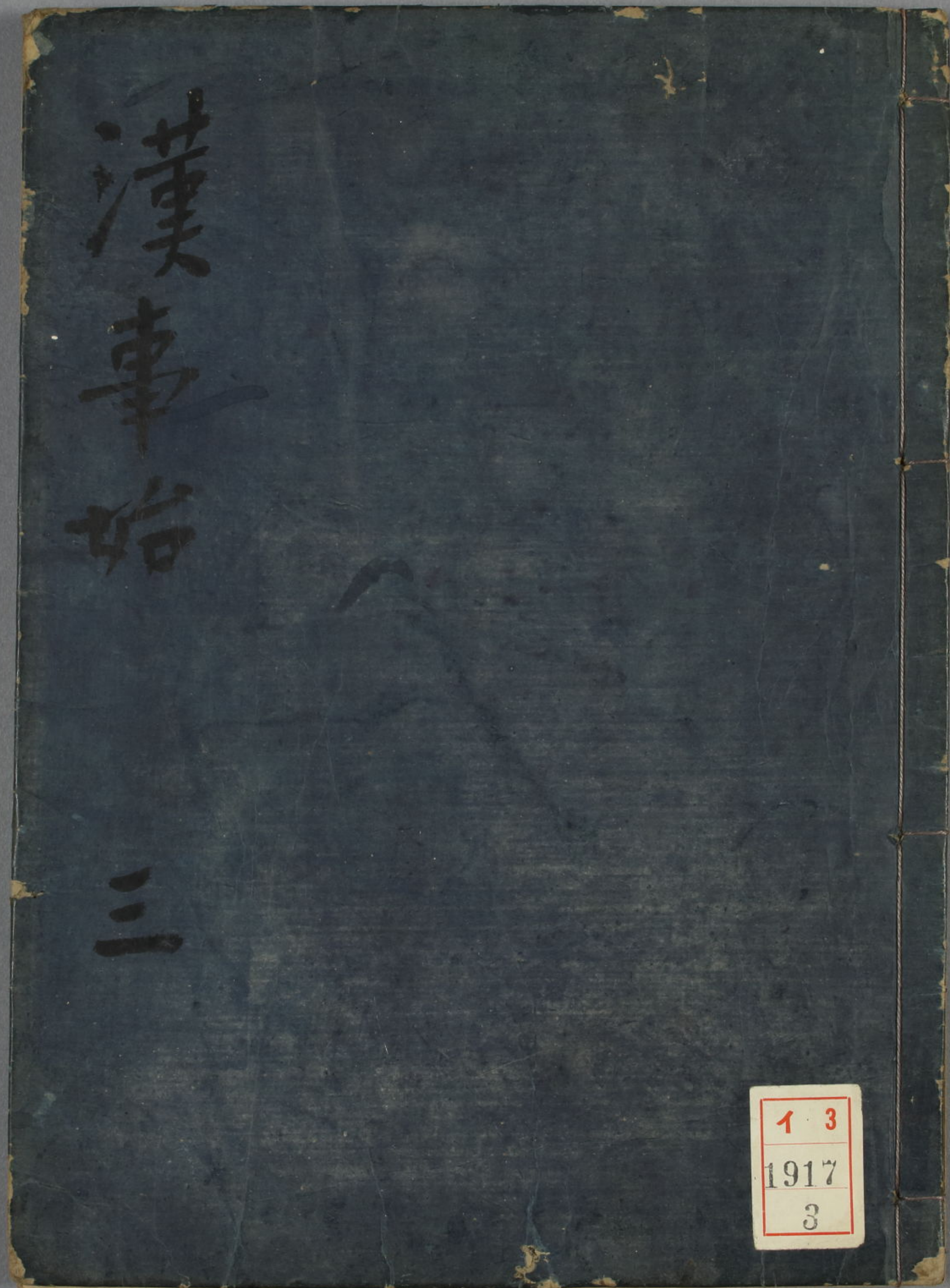




1917
3

中華事始卷之三目錄

器用門 第七

渾天儀

漏刻

仰

几

筆

紙

鼓

磬

阮

篳篥

簫

甬篳

非鼓

羯鼓

曆

硯

律

琴

箏

笛

柷

璽

墨

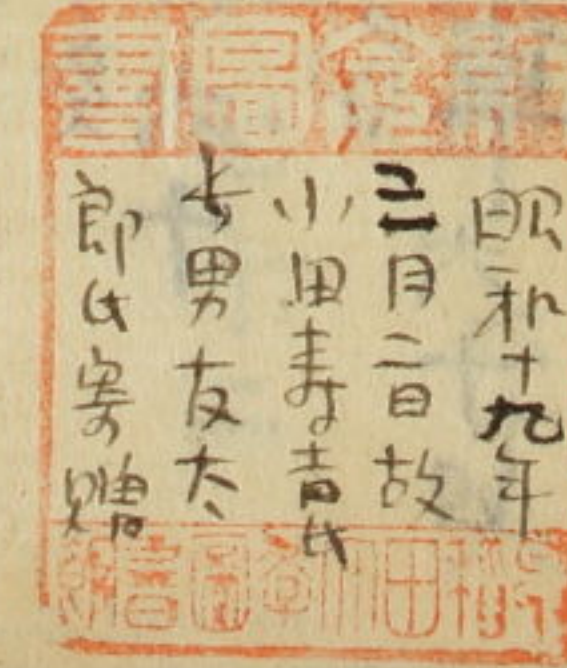
鐘

瑟

琵琶

笙

拍板



鈹ハチ 九十九

兵器イキ 三十

甲ヨロ 三十一

胄カフ 三十二

干戈タカ 三十三

劍ケン 三十四

戟ホコ 三十五

刀カタナ 三十六

槍ヤリ 三十七

矛ホコ 三十八

弓矢ユミヤ 三十九

弩ウボ 四十

箭筒ヤツ 四十一

射的ヤト 四十二

鳴鏑カブラヤ 四十三

旌ハタ 四十四

旗幟ハタヅル 四十五

鉦トラ 四十六

鼓聲ヂノタイコ 四十七

鞍クラ 四十八

鞭ムチ 四十九

盾タテ 五十

柝タク 五十一

鐵蒺藜クロカサノヒレ 五十

雲梯クモフカヘ 五十三

鐵炮テツポウ 五十四

耒耜スキ 五十五

鉏サヒツ 五十六

鎌カ 五十七

杵臼キウス 五十八

碓カラス 五十九

磴モミスリ 六十

磨イシウス 六十一

碾スリウス 六十二

舂ウスツク 六十三

水車ミヅクルマ 六十四

舂フゴ 六十五

水碓ミヅカラウス 六十六

蠶絲サンシ 六十七

機杼ハタヒ 六十八

針ハリ 六十九

熨斗ヒノシ 七十

髮髻カツラ 七十一

釵カサレ 七十二

梳クレ 七十三

鈎シロイモ 七十四

輕衫ハラヤ 七十五

燕脂ベニ 七十六

薰籠フセゴ 七十七

鏡カミ 七十八

鏡臺キヤウダイ 七十九

華蓋キヌガサ 八十

輦ニグルマ 八十一

鳳輦ホウレン 八十二

車クルマ 八十三

戎車ツメクルマ 八十四

指南車シナンヤ 八十五

舟フネ 八十六

戰舟イクサフネ 八十七

案アン 八十八

樽タル 八十九

盞サカン 九十

鼎カネ 九十一

水罐ミヅカン 九十二

盆ボン 九十三

鉢ハチ 九十四

杓ヒョウ 九十五

杯サカツキ 九十六

盤ハン 九十七

注子テウシ 九十八

偏提ヒサテ 九十九

托子タイ 百

龍 カマド 百一	秤 ハカリ 百五	陶 スエミ 百七	斧 ノコギリ 百十一	塙 シキカウ 百十五	幔 コシ 百十九	胡床 アゴラ 百九三	火 ヒ 百九七	燈 トシケイ 百九一
金甌 カネコシ 百二	斗 マス 附 レ 上	冶 イモ 百八	鋸 ノコギリ 百十二	漆器 シキ 百十六	屏風 ビョウブ 百九	席 アシロ 百九四	爐 ロ 百九八	杖 ツエ 百九二
匙 カヒ 百三	尺 モサシ 附 レ 上	羅 トリカミ 百九	鑿 ノミ 百十三	帷幕 イハク 百十七	簾 スダレ 百九一	簾 タカミシロ 百九五	炭 スミ 百九九	鳩杖 ハトシヨ 百九三
箸 ハシ 百四	什物 ジツモノ 百六	綱 ツツハシ 百十	瓦 カハラ 百十四	帳幄 ハシモウ 百十八	狀 ユカ 百九二	酒帘 サカバヤシ 百九六	燈 トモシビ 百三十	傘 カサ 百九四

雨傘 アメガサ 百九五	布袋 ヌブクロ 百九	鎖 ジヤク 百四十三	毬杖 キツチヤウ 百四十七	碑 ヒ 百五十一	木魚 モクギョ 百五十八	金玉 キンギョウ 百五十六	錢 ゼニ 百五十七	寶鈔 フタゼニ 百五十八
笠 カサ 百九六	唾壺 ダコ 百四十	投壺 トツコ 百四十四	木人 ホクシ 百四十八	銘 メイ 百五十二	如 ニヨ 意 百五十三	金人 キンジン 百四十九	寶鈔 フタゼニ 百五十八	
扇 アウキ 百九七	箕箒 チリトリ 百四十一	紙鳶 イカンホリ 百四十八	金人 キンジン 百四十九	如意 ニヨイ 百五十三	如 ニヨ 意 百五十三	金人 キンジン 百四十九	寶鈔 フタゼニ 百五十八	
手巾 テヌギ 百九八	繩 ナハ 百四十二	投子 サイイ 百四十六	棺槨 クワンクワク 百五十	念珠 スズナ 百五十四	如意 ニヨイ 百五十三	金人 キンジン 百四十九	寶鈔 フタゼニ 百五十八	

寶貨門 第八

中華事始卷之三 終

中華事始卷之三

器用門 第七

渾天儀一

春秋文耀鉤シユンジュブンヨウコウの云。唐堯佐タウギョウサは此をセめし。義和キワ

渾儀コンギと云。劉氏リウシが曆レキの云。湯氏カウヤウシ渾儀コンギと云。

英帝エイテイ蓋天カイテンと云。これよりハ渾儀コンギを

湯氏カウヤウシよりシす。事如紀原下月

漏刻ニ

梁刻漏リョウコクボウの云。軒轅ケンエンの時よりシなり。夏商カウヤウ

へと契ありてよりこのうゝ則業とて一せよ。
蒙恬^{モウテン}とゆりともハ何ぞや。恬ハ秦^{シン}の筆と始^{ハジム}
たのみ。枯木^{カレキ}ハ竹^{チク}とて。廉毛^{カゲ}とて。羊毫^{ヒツシノケ}とて。筆と
毫^ケとて。被^フとて。不^フ謂^{イハサウ}毫^{ガウ}先^ト毫^{チク}竹^{チク}後^キよりあるす。
ちとよりしてこれと見よ。羊毫とて筆と
とありハ蒙恬^{モウテン}より始^{ハジ}た。事お記ある日
学^{ガク}斎^{サイ}作^{テシ}車^{ヒツ}よりハ。事始^{ハジ}る蒙恬^{モウテン}始^{ハジ}て筆と
作^{アヤリ}とありハ。張也^{モウテン}蒙恬^{モウテン}ハ秦^{シン}始^{ハジ}るの時の人あり。
ちとより衛^{エイ}作^シり筆とてハ。形^{トウク}後^キあり。
形後有り

是ハ女史^{ニョウシ}の所載^{トコロノスル}の筆と云。又傳^{デン}る云史載^{シノス}筆と
曲礼^{キョクレイ}又孔子春秋^{キョウシキョウシュ}を修^{シユ}りある時^{トキ}筆とて
る則^{ソク}筆^{ヒツ}。削^{セウ}るハハ削^{セウ}る。筆と獲麟^{カクリン}
と後^キあり。又難組^{カンク}といふ。孝經^{コウキョウ}授^エ神契^{シンケイ}。孔子^{コウシ}孝經^{コウキョウ}を
又尚^{シヤウ}中^{チュウ}侯^{コウ}と云。玄龜圖^{ゲンキトウ}と負^フてお。周^{シウ}公^{コウ}羊^{ヤウ}氏^シ
たて時のふとられと写^{シャ}しあり。又難組^{カンク}といふ。
鉅^{キョ}毫^{モウ}茂^ボ々^{ハハ}滴^{テツ}永^{エイ}可^コ脫^{ダツ}滴^{テツ}文^{ブン}不^フ活^{カツ}と。又尔雅^{ニガ}及^{ガク}祝文^{シュブン}及^{ガク}秦^{シン}
前^{マヘ}ハ周^{シウ}の初^{ハツ}とてふ筆あり。
ふられと筆と云。楚^ソのふられと作^{サツ}と云。呉^コ
とられと不^フ筆^{ヒツ}と云。燕^{エン}のふられと弗^フと云と

見しそれハ。そゆて来るク。る大^{バタイ}年^子こ
 是日^{フタイ}附^イ會^イして。つゝ皆^{カン}牖^{トク}乃^ト筆^トと。則^ス今^{イマ}
 乃^{タチ}竹^{フデ}茅^チ也^ナ。毫^ケと用^{モウ}係^テ茅^チと。あゝと。蒙^{モウ}恬^{テン}も云^{イハ}
 て。始^{ハジメ}と。兎^ウ茅^チと。瓜^{ウリ}用^{モウ}ゆと。いり。あゝれ。左^サ在^イ子^ジの
 中^{ナカ}に。紙^チ等^トと。毫^ケと。あゝ。毫^ケと。用^{モウ}て。毫^ケに
 係^{ツク}る。ゆ。い。ら。あゝ。竹^{チク}茅^チ。かん。そ。誰^チの。人^{ヒト}に
 人^サや。左^サ子^ジハ。秦^シより。前^{マヘ}の人^{ヒト}なれハ。蒙^{モウ}恬^{テン}も。恬^{テン}
 然^シと。あゝ。さ。あゝ。ゆ。め。なり。い。らん。や。崔^{サイ}豹^{ハク}が。古^コ
 今^{イマ}は。み。蒙^{モウ}恬^{テン}が。茅^チと。紙^チと。は。つ。る。ハ。松^{マツ}木^キの。紙^チと。蒙^{モウ}恬^{テン}

ト。床^カ毛^ダと。柱^ハと。一^{ヒツ}羊^シ毛^シと。被^ウと。は。と。毛^ウ
 毛^ケ又^ト兎^ガ毫^ウ竹^{チク}茅^チと。用^{モウ}係^テと。ハ。か。け。と。ハ。兎^ウ毛^ケの
 茅^チ蒙^{モウ}恬^{テン}も。起^シる。と。い。ら。あゝ。恬^{テン}文^{ブン}も。秦^シより
 茅^チと。云^{イハ}一^{ヒツ}句^コの。あゝ。と。い。り。て。い。ら。あゝ。後^コ世^ウと。あ。や。海^{カイ}
 海^{カイ}の。也^ナ。好^コ古^コ蒙^{モウ}恬^{テン}も。和^ワ学^{ガク}の。徐^{ジョ}氏^シの。茅^チと。精^{セイ}
 紙^チ十^{ジュ}

後^ゴ漢^{カン}書^{ショ}蔡^{サイ}倫^{リン}傳^{テン}の。い。ら。あゝ。右^ウ契^{ケイ}多^タく。ハ。竹^{チク}
 茅^チと。海^{カイ}で。それ。を。あ。ひ。そ。漢^{カン}帝^{テイ}と。用^{モウ}ら。れ。こ
 毛^{モウ}紙^チと。云^{イハ}。漢^{カン}ハ。も。あゝ。い。ま。く。後^コハ。あ。ひ。し。
 漢^{カン}帝^{テイ}

至^{トモ}人^{タヨリ}の便^{サイリン}ありと。蔡倫思ひとめ^{シユ}。

膚^フ麻^ミ紙^{トウ}及^{ヘイ}幣^ブ布^フ魚^{キヨ}網^{マウ}をもつて紙^シと^シなり。元^{ゲン}興^{キョウ}元^{ゲン}。

年^{ネン}これ^{コレ}を^ヲより^リに^ニ。和^ワ帝^{テイ}も^モ能^{ノウ}と^トせ^セ。

海^{カイ}。あ^アも^モより^リこ^コ下^ゲ位^イひ^ヒ用^{ヨウ}ひ^ヒす^スと^ト云^クす^スなり。そ^ソ。

く^ク蔡^{サイ}侯^{コウ}が^ガ紙^シと^ト云^ク。あ^ア今^{イマ}京^{キョウ}始^シよ^ヨ。は^ハ時^ジた^タ伯^{ハク}毛^{モウ}張^{コウ}。

字^ジ尉^イ侯^{コウ}果^カい^イと^ト云^ク。蔡^{サイ}倫^{リン}始^シて^テ紙^シと^ト云^クなり。そ^ソ。

み^ミと^ト云^ク。は^ハ蔡^{サイ}倫^{リン}ハ^ハ後^ゴ漢^{カン}の^ノ時^ジ乃^ノ人^ニ也^{ナリ}。あ^ア。

は^ハも^モ前^{ゼン}漢^{カン}書^{ショ}外^ゲ戚^キ傳^{デン}也^{ナリ}。赫^{ゲキ}疏^{シュ}注^{チュ}。小^コ紙^シなり。と^ト。

あ^アも^モハ^ハ。恐^{コウ}く^クハ^ハ蔡^{サイ}倫^{リン}も^モ始^シり^リの^ノあ^アり^リと^ト云^ク。倫^{リン}。

が^ガ他^タの^ノ下^ゲ。あ^アも^モ世^セの^ノあ^アり^リと^ト云^ク。精^{セイ}工^{コウ}か^カあ^アり^リと^ト云^ク。

紙^シ。始^シく^ク紙^シと^ト云^クなり。と^ト云^クハ^ハ不^フ可^カなり。又^{マタ}。

難^{ナン}組^ソと^ト云^ク。蔡^{サイ}倫^{リン}始^シく^ク紙^シと^ト云^クなり。と^ト云^クハ^ハ紙^シ也^{ナリ}。前^{ゼン}。

漢^{カン}書^{ショ}の^ノ紙^シ。蔡^{サイ}倫^{リン}始^シく^ク紙^シと^ト云^クなり。と^ト云^クハ^ハ紙^シ也^{ナリ}。前^{ゼン}。

そ^ソり。後^ゴ漢^{カン}の^ノ紙^シ。蔡^{サイ}倫^{リン}始^シく^ク紙^シと^ト云^クなり。と^ト云^クハ^ハ紙^シ也^{ナリ}。前^{ゼン}。

深^{シン}く^ク。あ^アも^モ。は^ハ蔡^{サイ}倫^{リン}始^シく^ク紙^シと^ト云^クなり。と^ト云^クハ^ハ紙^シ也^{ナリ}。前^{ゼン}。

。此^{コノ}後^{セツ}より^リハ^ハ。前^{ゼン}漢^{カン}の^ノ時^ジと^ト云^ク。紙^シあり。と^ト云^ク。

蔡^{サイ}倫^{リン}始^シく^ク。穀^{コク}皮^ヒ麻^マ紙^シ。敝^{ヘイ}布^フ。臭^{キョウ}網^{マウ}と^ト云^ク。蔡^{サイ}倫^{リン}始^シく^ク。

て^テ。紙^シを^ヲ作^{サス}る^ル。あ^アも^モ紙^シ始^シて^テある^ルの^ノ。

伊耆氏乃土鼓トコよりヲ起ヲるヲなりの伊耆氏と云

磬ケイ 十四

後文云云セツブン。勾コウ氏シ磬ケイとレなり。樂ガク録ロク云云。磬ケイハシヨク叔シヨクガガ化

龍リウ而ニ也。礼レイ記キ云ニ。叔シヨクガガ新シン磬ケイとレなり。古コ史シ考カウ云ニ。叔シヨクハ

堯ギョウノノ時トキノノ人ヒトとレなり。包クハ圖ト要ヨウ紀キ云云。帝テイ嘗コク鐘シヨウ磬ケイを

作ツクる。通ツウ礼レイ義ギ纂サン云云。英クハウ帝テイ伶レイ倫リンとレて磬ケイと

作ツクる。一ヒトとレもレなり。

琴キン 十五

文選モンゼン西都賦セイトノフ云云。伏犧フクキ琴キンとレなり。多タ世セ也ニ。況

もこれより。琴キン操サウ云云。伏犧フクキ琴キンとレなり。多タ世セ也ニ。

長ナカ云ニ尺六寸シツあり。琴キン云ニ云ニ曰ハク。伏犧フクキ氏シ乃ハ天下テンカに

五ワつり。一ヒト時トキ。桐キリ氏シ削ケツリるコト琴キンとレなり。廣雅クハヤ云ニ曰ハク。

伏犧フクキ氏シ乃ハ琴キンハ長七尺二寸ナガサ。况セツブン文ブン云ニ云ニ。琴キンハ

神農シンノウ乃ハ造ツクり。多タ世セ也ニ。植シキ獲ハク乃ハ初ハジメ種シユ也ニ。神農

氏シ始ハジメて桐キリ氏シ削ケツリるコト琴キンとレなり。多タ世セ也ニ。一ヒト種シユとレ混マシみテ

絃センとレ云ニ。周シウ乃ハ文王ブンワウ武王ブワウのノ一ヒト絃センとレ加クハへタ多タ世セ也ニ。

雅ガ云ニ云ニ。神農シンノウのノ琴キンハ長二尺六寸シツあり。多タ世セ也ニ。

文王ブンワウ二ニ絃センとレもレ一ヒトなり。隋ズイ音イン樂ガク志シ云云。

ナカレミレカララニス

朱襄氏ハ伏羲氏より八世君

院ナセ
ゲツキン

ゲツキン

晋阮咸^{シニゲンカン}より俗^{ソク}を可^ニ也。有^{コト}ル阮咸^{ゲンカン}と云^{イフ}。唐^{タウノ}元^{ゲン}行^{カウ}冲^{チウ}を
 形^{カタチ}の月^{ツキ}を似^ニて。却^{コエ}琴^{コト}を合^{アウ}を以^{モツ}て月^{ゲツ}琴^{キン}と名^ナ
 づく。事物紀原下曰

タタラゴト
堊篋
十八

風俗通フタヅクシウといふ。漢カン武帝ノブ樂人テイガクニン侯桐コウテウとして琴キンに
よりて坎カン侯コウとけしむ。坎カン侯ハ笙クウ階ガイ音樂ガク志シ
よりハ笙クウ侯コウとけしむ。西域セイイキより出イヅ中チウ夏カの舊キウ琴キンより
わしずとより。

サウノコト
竹 十九

陸^{リク}汝^{ハフ}之^{ゲン}が切^{セツ}顔^{イニ}の^ニ也。第^{サウ}ハ^{コト}秦^{ニン}蒙^{モウ}恬^{テン}が^ガ也。隋^{スイ}音^{オン}

琵琶
二十

風俗通^{フウクツウ}より云。琵琶^{ビバ}を代樂家^{キンダイガク}代^{ガク}りて。其^シを始^ジと
 せし。樂府^{ガクフ}雜錄^{ザツロク}より云。烏孫^{ウソン}の王^{コウ}乃^ニ造^{ゾウ}りて。其上^{バニヤウ}
 又^{マタ}彈^{タン}ぜしより始^{ハジ}り。傳^フ云^{ゲン}琵琶^{ガビ}賦^{ハノフ}序^{シヨ}より云。あるを
 の云。漢武帝^{カンブフ}の時^{テイ}。烏孫^{ウソン}の王^{コウ}とせし。て烏孫^{ウソン}の嫁^カ
 せし。其^シの時^{ユク}。あると思慕^{シボ}せん。其^シの

笙 シヤウ
九

鼓鼓 九八

呂氏リョシ去キ杖シヤウ。帝テイ嘗コク僞スイと
 ひ。毎ゾウ曆レキより云クモ。帝テイ嘗コク共キヤウ工コウが礼レイと平タイけく。非フリ鼓ツ鼓ハ鼓ム
 と化キりあふ。

錫カッ
鼓コ
九六

カツ
 ユ
 ロシ
 羯鼓深う云。我羯の鼓なかと云く。ある羯鼓
 シウ
 カツ
 カツ
 ツ、エ
 正ヒスクニ
 ツウ
 テン
 と云。通典よ云。羯よりせると以て羯鼓と号と。
 カツ
 コ
 ガウ
 カツ
 コ

祝敵 九七

礼^{レイ}記^キ樂^ガ記^クの^キ。聖^{セイ}人^{ジン}挽^ク掲^ウを^カ作^ツる^クは^イあり^ニほ^ウし
 挽^ニ救^{キョ}と^ウ云^フ。毎^ツ曆^リと^ウ云^フ。帝^{テイ}嘗^{コク}共^キ工^ウが^コ乱^{ラン}と^ウ平^{メイ}け^ラて
 輓^ク掲^カと^ウ作^ツる^ク。

拍板
ビムサ、ラ
九八

晋シンギ魏ウイの代は宋ソウ後ゴウと云ふものあり。節セツと輕ウツなる

とくも。終に板とゆくあれと打てケキセツ
まうゆ。是が板板の如也。

鉞ハチ 九九

通典ツウデンに云。鉞ハチ亦銅盤トウパンと名づく。西戎及南蛮
より出づ。或云新羅王の所より出也。

兵器ヘイキ 三十

兵ヘイハ戈戟クハゲキ矛ホウ劍ケンの如き也。大自陰陽タイインキョウより云。神農
石と云。兵ヘイハ此なり。黄帝ハ此タマハ此より兵ヘイ
化カあり。蚩尤シユ則金カネ以カ鑠カして兵ヘイハ此なり。草

と割サイて甲ヨロヒと化カり。始ハジメて又兵ゴヘイと制セイも。呂氏春秋
に云。蚩尤シユ又兵ヘイと化カり。戈クハ。矢ニユ。戟ケキ。盾コシ。矛ハウ。夷イ。矛ハウ也。好古
は周礼シユ注シユハ矛戟コシ楯コシ弓コシをみ兵ヘイと云。谷梁
傳シユ注シユハ矛戟コシ刀楯コシ弓コシ矢ニユをみ兵ヘイとす。世に云。蚩尤シユ金カネと以
て兵器ヘイキと化カり。此コノハ則兵ヘイハ炎帝エンテイより出デるま
うと云。金カネハ此コノてみと云。蚩尤シユハ蚩尤シユより始ハジメり。

甲ヨロヒ 九一

世に云。桴チヨ甲ヨロヒと化カり。桴チヨ或與ヨは化カり。墨子ボクシに云。又
桴チヨ甲ヨロヒと化カり。と云。大自陰陽タイインキョウより云。蚩尤シユ革カバと
割サイて甲ヨロヒと化カり。蚩尤シユの所も 黄帝クハウテイに傳タテり云。云

女帝^{ジョテイ}は後^ゴて甲冑^{カウ}を制^{セイ}して兵^{ヘイ}を以^{モツ}て治^シむ。

冑^{カウ} 凡^ニ二

これ又^{マタ}漢帝^{カンテイ}の時^{トキ}に女^メが化^カる所^{トコロ}にあ^アるなり。

干戈^{カンゴ} 凡^ニ三

五^イ子^シ年^{ネン}は拾^{シウ}遺^イ記^キに云^ク。庖^{バウ}犧^キ氏^シ干戈^{カンゴ}を造^{ツクリ}る。
以^{モツ}て武^ブを飾^{カサ}す。是^{コノ}干戈^{カンゴ}の始^{ハジメ}也。

劔^{ケン} 凡^ニ四

管子^{カンズ}に云^ク。じう^{ジウ}葛^{カク}夫^フ盧^ロは山^{サン}を殺^{コロス}して金^{キン}を採^{サイ}む。
と。蚩^シ尤^{ユウ}を文^{モン}てこれと制^{セイ}して劔^{ケン}鎧^{ガイ}矛^{ボウ}戟^{ゲキ}を化^カる。

け劔^{ケン}甲^カの始^{ハジメ}也。

戟^{ゲキ} 凡^ニ五

呂^{リョ}氏^シ春秋^{シュンシュ}に云^ク。蚩^シ尤^{ユウ}は兵^{ヘイ}を化^カる。戟^{ゲキ}ハ一^{イチ}也^ニ。鯀^{ゴン}魚^{ギョ}河^カ圖^トに云^ク。蚩^シ尤^{ユウ}戟^{ゲキ}を化^カる。

刀^{カタナ} 凡^ニ六

龍^{リウ}魚^{ギョ}河^カ圖^トに云^ク。漢^{カン}帝^{テイ}の時^{トキ}に蚩^シ尤^{ユウ}は刀^{カタナ}戟^{ゲキ}を化^カる。郭^{クハク}憲^{ケン}が洞^{トウ}冥^{メイ}記^キに云^ク。漢^{カン}帝^{テイ}は山^{サン}を洞^{トウ}と採^{サイ}る。始^{ハジメ}て刀^{カタナ}と鑊^{コク}二^ニ儀^ギを定^{テイ}む。刀^{カタナ}の制^{セイ}ハ漢^{カン}帝^{テイ}に始^{ハジメ}る。蚩^シ尤^{ユウ}は戟^{ゲキ}を化^カる。一^{イチ}にしてこれなり。

鳴鑼 カフラヤ 四十三

前漢書匈奴傳云。冒頓鳴鑼と云。

旌 ハタ 四十四

管子云。舜進善の旌あり。云々。則虞帝
と起ふなり。事お 古今原云。禹旌旂と
して。早失財の旌と云。旌の
始なり。

旗幟 ハタヒル 四十八

列子云。黃帝。炎帝と戦ふ時。彫器
を集めて

て旗幟と云。大日陰神云。雲を旗幟と云。炎帝
内傳云。玄女帝と傳て旗幟と云。雲物
より云。旗幟の始也。

鉦 ドラ 四十六

炎帝内傳云。玄女帝と傳て鉦を鑿て電
の形と云。今此銅鉦ハを造る也。

鼓聲 チンタイコ 四十七

炎帝内傳云。玄女帝と傳て鼓聲と制
く雷霆と云。云々。炎帝これを制して

以く楽をとりて家也。呂氏春秋云帝嚳
 以く楽をとりて鼓皐鼓の樂を修くむ。
 スイ
 一イ
 コ
 ガシ
 リヨ
 シ
 シュン
 シウ
 テイ
 コク

鞍クラ
四十八

祖寬クニノヒロ
うウ怪エニ鉄テツ傷ロンより云いみ
人ハ。繩ヒョウアン鞍サウ草鞵チヤヒ皮ヒ薦センと

乃月。後代草鞆カハグラと云く飾カサリと云く六鞆リシタと云

車^{クルマ}走^{ハシ}
乃^{ナニ}の軍馬具^{イクバク}
〜
以^{モッテ}鞆^{タヌ}
勒^{ロク}
倚^{ヨリ}
〜
さふまゝ
也

殊^{コト}と。これと推^ヲせ、
南^{ミナミ}々^々三代^{サンダイ}の
第^{ダイ}一^{イチ}。

報
四十九

從文來云。報ケテハ遲ノチと廻カるト法ホト乃ナ是コノ也ナリ。古イニハ章カハと

用くるは^カ廻る。尤^サ傳^{デン}ふ。教^{ムチ}の長ともするの^ラ版^ハなり

及いざふとある是也。仮代られ且代^タり又竹と誤て

も。あり或^{アルハ}はと蜜^{スイ}と云^{タイロウバ}。大王馬^{スイ}蜜^{ツイ}と杖^{ビン}て都^ツを

去と^サ而^ル進^ムハ。其^レ來^ル如^クク久^ク。震^グ當^レ以^テ鞫^ム之^ヲ。

キウケイ
文利と名とあるは。名と堯舜此代ヨ
キョウリン

切く。婚て。房刑ハクタイの刑ト一々云。

盾 タテ
又十

五嘉拾遺記云。庖犧氏干戈作。此則

楯 タテ
乃
也。

檮ツルギ同。今俗に
檮ツルギ子シ木キのルイ新イ也。

易繫辭

ハ
夜^ヤ
行^{キヤウ}

カウチウ
トキモリ

クロガネノヒ
鐵炭煎

漢文帝

クモノカケハレ
雲梯

ボノ
星雲

子シ解カイ蠟ヤウ

子

也。

ありて

口
ヒト
コ
魚
人
云

レノヒ
漢

27.

鉄砲 テツ
ハウ

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

耒耜 スキ 又十八

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

耒耜 スキ 又十六

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

耒耜 スキ 又十七

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

耒耜 スキ 又十八

易繫辭。神農氏。始教人。食。人。食。之。
易。繫。辭。神。農。氏。始。教。人。食。人。食。之。

カヲウエ
碓
二十九

モリスリウス
磴 六十

イレウス
磨
六十一

スリムス
礮
六十二

漢書拾遺

文帝内傳う。帝とて。王母と王屋の令。大漢十二面と。月と。これと。用也。云。中記。の。亮の。長。尹。帝。後。氏。化。り。と。ある。ハ。北。也。

鏡蓋 七十九

魏武帝雜物疏う。云。鏡蓋ハ魏の宮中より出。

華蓋 八十

古今注。曰。華蓋ハ。文帝。此。蓋。を。と。戦。ひ。あ。り。時。久。乃。雲。氣。金。枝。玉。葉。あり。て。帝。の。こ。止。所。也。乃。衆。あり。一。所。也。乃。形。より。て。華蓋と。化。る。

輦

通典。云。夏后の末代。代り輦と。化。る。高。う。胡。奴。車。と。云。周。の。輜。車。と。云。隋。の。時。輦。と。化。る。輪。と。化。り。と。云。人。と。て。これ。を。あ。み。い。む。注。う。云。人。の。牽。と。輦。と。云。正義。う。云。秦始皇。も。輜。車。去。て。これ。と。あ。か。い。む。漢。代。世。ふ。より。遂。人。云。乃。衆。と。云。紀。原。古。今。原。始。曰。輦。輦。の。湯。氏。始。く。結。え。輦。と。衆。と。れ。輦。と。衆。の。始。也。

鳳輦 八十二

飲^イも。海^{ナリ}の云^{ナリ}地^{ナリ}とありて橘^ニとん。け橘^ニのぬれ始^{ナリ}
也。後世^{アルハカハラキ}或^{ナリ}瓦^{ナリ}本^{ナリ}お成^{ナリ}くゆ^{ナリ}ハ^{ナリ}色^{ナリ}よりお^{ナリ}れり。

蓋^{サカシキ} 九十

れ^{ナリ}記^{ナリ}ハ^{ナリ}有^{ナリ}虞^{ナリ}氏^{ナリ}ハ^{ナリ}後^{ナリ}と^{ナリ}て^{ナリ}。商^{ナリ}ハ^{ナリ}平^{ナリ}と^{ナリ}て^{ナリ}。周^{ナリ}ハ^{ナリ}爵^{ナリ}と^{ナリ}て^{ナリ}。け^{ナリ}ニ^{ナリ}意^{ナリ}の始^{ナリ}也。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。
今^{ナリ}世^{ナリ}ハ^{ナリ}月^{ナリ}ハ^{ナリ}お^{ナリ}れ^{ナリ}蓋^{ナリ}ハ^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。

鼎^{カナヘ} 九十一

史^{シキ}記^{ナリ}黃^{ナリ}帝^{ナリ}内^{ナリ}傳^{ナリ}經^{ナリ}緯^{ナリ}疏^{ナリ}小^{ナリ}ハ^{ナリ}云^{ナリ}。黃^{ナリ}帝^{ナリ}育^{ナリ}ハ^{ナリ}。
乃^{ナリ}訓^{ナリ}成^{ナリ}採^{ナリ}て^{ナリ}鼎^{ナリ}と^{ナリ}荊^{ナリ}ハ^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。

水罐^{ミツカメ} 九十二

盧^ロ緄^{リシ}ハ^{ナリ}四^{ナリ}起^{ナリ}事^{ナリ}ハ^{ナリ}云^{ナリ}。晋^{ナリ}ハ^{ナリ}帝^{ナリ}來^{ナリ}郊^{ナリ}と^{ナリ}て^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。
一^{ナリ}ハ^{ナリ}軍^{ナリ}敗^{ナリ}ハ^{ナリ}。帝^{ナリ}喝^{ナリ}せり。帳^{ナリ}下^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。又^{ナリ}ハ^{ナリ}銅^{ナリ}罐^{ナリ}と^{ナリ}て^{ナリ}。乃^{ナリ}成^{ナリ}採^{ナリ}て^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。

盆^{ボン} 九十三

示^シ雅^ガハ^{ナリ}。蓋^{ナリ}ハ^{ナリ}云^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。今^{ナリ}ハ^{ナリ}。盆^{ナリ}ハ^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。
蓋^{ナリ}ハ^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。今^{ナリ}ハ^{ナリ}。盆^{ナリ}ハ^{ナリ}。後^{ナリ}より^{ナリ}お^{ナリ}れり。

鉢^{ハチ} 九十四

もや天竺國の寒也。胡語をあらを清多羅と云。
 漢^{カン}うハ無量と云。胡^ゴ語と略^{リョウ}して清^{ハチ}と名^ナづく。宋^{ソウ}
 廬^ロ陵^{レウ}王^{ワウ}胡^{トウ}公^{ハチ}と云。祖^{モツ}祈^テを餉^ソじと云。晋^{シン}宋^{ソウ}と云。
 乃^ナ始^シく中^{チュウ}必^{ヒツ}く用^{ヨウ}侍^シを云。

杓ヒシヤク
九十又

礼の堂位レイノメイタウイ。其后氏ハ考カウと云くは。これを推ヲシ
 考カウ述スツハ。も前ヒキ已セイハ。杓シヤク代ダイ制セイあり。有ユウ夏カ始シテ。加カ
 物モノハ。新シンを以モツて。杓シヤクを歸カガせり。祭サイ記キあり。
 月ツキ食シキを以モツて。民ミン用ヨウハ。杓シヤクと云く。も実ジツハ。一イチなり。

杯 九十六

礼^{レイ}玉^{キョク}藻^{サウ}貝^{ガイ}。母^ハ後^コ進^{シン}。バ^ハ外^{ガイ}杯^{ケイ}圈^{ケン}あ^アく^ク飲^{イン}る^ルあ^アこ^コハ
 ど^ドと^トあり^リ。十^{ジツ}洲^{シュウ}記^キ貝^{ガイ}。周^{シウ}穆^{ボク}王^{ワウ}の^ノ時^ジ。西^{セイ}胡^{イコ}より^{ヨリ}常^{セウ}使^シ
 杯^{ハイ}と^ト献^{ケン}る^ルと^トあり^リ。これ^{コレ}を^ヲひ^ヒく^ク見^ミる^ルは^ハ。杯^{ハイ}ハ^ハ二^ニ代^{ダイ}の^ノ
 制^{セイ}也^ヤ。紂^{チュウ}瓊^{ケイ}杯^{ハイ}と^ト献^{ケン}る^ルと^トあり^リ。これ^{コレ}なり^{ナリ}。

九十七

大^{タイ}字^{カク}日^{タラ}湯^{ハシ}盤^{メイ}落^{タラ}あり。是^カ友^コの世^{ハシ}とてに盤^{セイ}乃^{セイ}制^{セイ}
 して湯^{タラ}王^{ワウ}始^{メイ}くこれよ落^{メイ}とさうしきあり。
 或^ア之^レ盤^{ハシ}孟^{メイ}ハ英^{エイ}帝^{テイ}乃^ニ長^{チヤウ}孔^{コウ}甲^{カフ}迄^シさう^シに^ニ二^ニお^ニ始^{ハシ}也^ヤ。

汪子 九十八

唐の元和中 唐憲宗の年号よりせむ。と造る所の

人の名物

偏提 九十九

事始云云 唐文宗 仇士良汪子始

郡はみせり 子と名を郡と云く

あり 柄と云ふ成つけ 東魏の如くあり

吳が 名けて 傳授と云。

托子 百

建中の始 唐の憲宗 崔寧が女匠者としてけり

と云う 一より始り。

電 百一

漢李尤電流を造るより。

漢事始より。電ハ文帝の如くあり。

金瓶 百二

古史考より。文帝始く金瓶と造る火食の

がれり。

匙 百三

フニワウ 正キ 久々の易派賛サ一あり付震の卦ケよむる一七
也チと一ありずと一あり。符純シキヤウの太素タイトウ
篇ヘン。林棘ベケルルハラフカヒ七ありとを記シルせり。七八セハか二五ニゴは也。

籌 ハシ 百四

礼レイ記キ。泰キヒと頤ジすあり。筮ハシとモツテあり。あれ
あり。韓カン子シ。射象チウキザノハシとハシなり。と云とあり。ん
も。も。久。

百八 秤 ハカリ 斗 マス 尺 モノサシ

此にわたり。黄帝の時よりとあり。とあり。呂

氏シ春秋シユンシウよありせり。

什物 ジウモツ 百六

史記シキ。舜シユン什器ジウキを安丘アンキウなりと云。什器シキハ世セより
器キの惣名也。

陶 スエモノ 百七

周書シウシヨよ云。祚シノウ農陶スエモノと云。

冶 イモノ 百八

お史考スイジンよ云。燧人カ子今氏イ焼く刀カ成イなり。令カ子ハ各冶イモ
なり。周書シウシヨよ云。祚イモ農冶イモとあり。尸シ子シ。ん。
治イモと云。そのハ雲シ也ユウとあり。按アずるなり。

れよ云。むー先生いふ。火化わん。火化と云。火
新して化コラセイヒ後コラセイヒ火の利ソナヘ氏ナハ燭カチ金イカタ範ツチ一ツチ合ツチ
と云。火の始也。亦火燭て火化あはるなり。始れ
あん。

羅トリ 多罾也 百九

世本よ云。包犧氏ハウキの長シニ勾芒コウバウ罾トリと化なり。

網アミ 魚罾也 百十

古史考よ云。伏羲氏フクキ網アミと化なり。世本よ云。勾芒
化。易ケイ繫辭ケイジよ云。包犧氏ハウキ網アミと化ムスびく網罾アミコと

も。抱朴子ハクシよ同。大昊タイカウ蜘蛛チチウと云く網アミと化ムスなり。易ケイ繫辭ケイジ
と云。包犧氏ハウキと化ムスなり。

斧ヲノ 百十一

周シウ本よ同。神農シンノウ斤キンと化ムスなり。皇圖ハウト要記ヨウキも
神農シンノウ斧ヲノ斤キンと化ムスなり。

鋸ノコギリ 百十二

古史考よ云。孟莊子マウサウシ鋸ノコギリと化ムスなり。皇圖ハウト要記ヨウキも
魯ロ公コウのたまふなり。

鑿ノミ 百十三

古史考よ云。鑿ノミと入ノミ在ノミ子ノミ化ムスなり。

帳 百十八

ヨスニアハ

慢
百十九

屏風 百二十

卷一

三礼圖。屏風乃名漢世よりある斑固が
まゝ多くも物と云とあり。然るハ其漢の時屏風
と制せしむ。因るに鄧氏展成よりありと
ある。

簾 百九一

莊子。魚網よりあり。荀子。局室を魚簾乃又の
る。これよりしておせはるるよりくハ三代よ
りともある。

牀 百九二

孟子。舜は牀よりして琴川よりあり。其
帝の傳より七寶堂より牀あり。ハ
有熊氏よりしてあり。

胡床 今云床机

風俗通より云。漢高帝胡服をよのび。景帝より云
その胡床をひく。これより始む。

席 百九四

拾遺記より云。軒を黄帝百辟殿よりして云
と蘭蒲の席より列ねる。韓子より禹蔣席

と化り。頼縁アカキハリとやあまのい。馬ウマとやあまのい。始ハジメて純ジュン縁エンとやあまのい。

簞タカハシロ 百九五

詩経新千の篇。下ニレカミシロラタスタカハシロとタカハシロあり。元月
此時よりあまのい。

酒帘リカハヤレ 百九六

晋シ司馬シマ此時イニシ源士チヤウケン張チヤウケンえこれを化り。古今キン本始ハジ

火ヒ 百九七

礼會レイカイ文嘉フシカよ同スイジン燧人スイジン始ハジとタカハシロあまのい。始ハジて火ヒ化キリえ。

燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。人ヒトとタカハシロあまのい。始ハジて腹疾ハツシキなり。

燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。世セとタカハシロあまのい。燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。

火ヒ化キリえ。尸シ子シ淮南ワイナン子シ白虎ニヤクコ通ツウとタカハシロあまのい。燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。

燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。とタカハシロあまのい。燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。

燧人スイジン 百九八

用レウ礼レイ天官テンクワン家宰チヤウサイ此レウク屬レウク友ユウ人ニン。凡リン寢チウ中トミ共ニ燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。

燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。とタカハシロあまのい。燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。

炭スミ 百九九

燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。とタカハシロあまのい。燧人スイジン始ハジて火ヒ化キリえ。

トウケイ
燈發
百廿一

杖^堂
百
元
二

ハ。夸^{クハ}父^フ目^ヒと^{ハシ}も^{ハシ}は^{ハシ}ふ^{ハシ}が^{ハシ}争^{アラフ}ひ。乃^{アラフ}わ^{アラフ}て^{アラフ}死^シむ。そ^{ソノ}杖^{ツツ}

杖ハノミ
百廿二

漢^{カニノカウソ}の祖楚項羽と我^{タカ}ひと敗^{ヤフ}れぬ。遠^ヲかりし意^キ
み^{イナカ}て井中より出^デた。越^{ハト}わりてもとよ鳴^{ナク}遠^ヲ来^キ
敵^{テキ}を井中に人^{ヒト}のとおもひてさぬ。祖^{カウソ}
られよ。つてまぬ。所^{トコロ}を成^ナゆ。り。位^イは高^{タカ}
てぬ。越^{ハト}杖^{ジョウ}を制^{セイ}して。患^{クハシナン}難^{ナン}を忘^{ワス}さず。海^{ウミ}を来^キ

せり。右今系始

傘 百廿四

晋^シの代^ヨ始^キ然^{タイ}后^{ホク}皆^コ車^コに乘^カる。蓋^{カイ}ありて傘^カなり。魏^キハ代^{タイ}小^ホより始^キ中^{チュウ}五^ゴとそ^ソ小^ホ俗^{ソク}騎^キり後^ゴかり。小^ホ方^{ホウ}の俗^{ソク}騎^キと傘^カハ騎^キより始^キるものなれど。う^ウくハ後^ゴ魏^キの時^{トキ}始^キるも制^{セイ}もけ^ケるあ^アー。い^イふく^ク帛^{ヒキ}と^ト綴^{ズイ}とす^ス所^{ショ}な^ナき^キ也^ヤ。下^ゲ曰^{イハレ}。六^{ロク}韜^{タウ}よ。天^{テン}を^ヲあ^アれ^レ九^ク蓋^{カイ}幔^{マン}を^ヲも^モつ^ツと^トり^リ。そ^ソ周

雨傘 百廿五

乃^ハ初^{ハツ}め^メり^リか^カれ^レハ。雨^{アメ}傘^{カサ}始^{ハツ}り^リハ三^{サン}代^{ダイ}す^スて^テな^ナり。

笠 百廿六

漢^{カン}高^{コウ}祖^ソの微^ビなり^リ。一^{イチ}時^{トキ}竹^{タケ}筵^{セン}を^ヲ以^{モッテ}て冠^{カウ}とせ^セる。と^トて小^コ尖^{セン}なり^リと^トも。從^スハ^ハれ^レと^ト服^{フク}せ^セる。民^{ミン}乃^ハ競^{キョウ}效^{コウ}く^ク竹^{タケ}冠^{カン}と^ト。そ^ソ始^{ハツ}り^リ裁^{サイ}く^クの始^{ハツ}也^ヤ。右^{ミドリ}今^{イマ}系^{ケイ}始^{ハツ}り^リ。

扇 百廿七

崔^{サイ}豹^{ヒョウ}が古^コ今^{イマ}に^ニ見^ミる。舜^{ジュン}又^{マタ}の扇^{セン}を^ヲ使^ヒり^リと^トす^ス。記^キせ^セり。今^{イマ}亦^{モト}紙^シと^ト扇^{セン}ハ周^{シュウ}武^ブ王^{ワウ}の使^ヒと^トす^ス。右^{ミドリ}今^{イマ}系^{ケイ}始^{ハツ}り^リ。

記系
ト曰

巾 百廿八

礼記。浴^{ヨク}と^ニ時^ニ二巾と^キあり。計^ケ三代^ノ制^ノ也。^テ中^ニと^ナ名^ヲ付^スる^ハ。漢^{カン}世^ノより^ハ始^メ也。

布袋 百廿九

世^セカウ^{コウ}ヨウ^{ヨウ}。劉^{リウ}の^ノ民^{ミン}も^モ子^シと^トバ^バ更^マ人^ニを^ヲ得^トり。乃^ス裹^ツ餽^ム糧^{コウ}於^ニ橐^ニ。毛^{モウ}傳^{デン}。大^{ダイ}か^カを^ヲ橐^ニと^ト云^フ。小^コか^カを^ヲ囊^ニと^ト云^フ。即^{キョウ}洗^{ラン}と^ト云^フ。古^コの^ノ者^{モノ}は^ハ食^{シヨク}布^フ囊^ニと^ト云^フ。糲^{カテ}氏^シ貯^チと^ト云^フ。毛^{モウ}外^{ガイ}布^フ囊^ニハ^ハ糲^{カテ}と^ト云^フ。む^ム此^{コノ}月^{ツキ}と^ト云^フ。劉^{リウ}の^ノ時^{トキ}より^ハと^ト云^フ。小^コと^ト云^フ。乃^ス時^{トキ}ハ^ハ。衣^イ后^{コウ}代^{ダイ}

世よりととの也。

唾壺 百四十

西^{サイ}京^{ケイ}雜^{サク}記^キ。廣^{コウ}川^{セン}王^{ワウ}。魏^キ襄^{ギョウ}王^{ワウ}の^ノ家^ケを^ヲ殺^{コロ}て。公^{コウ}唾^ダ壺^コと^ト云^フ。と^ト云^フ。と^ト云^フ。我^ガ王^{ワウ}の^ノ時^{トキ}より^ハと^ト云^フ。小^コと^ト云^フ。割^セり。

箕箒 百四十一

世^セカウ^{コウ}ヨウ^{ヨウ}。箕^キ箒^{ヘキ}と^ト云^フ。乃^ス時^{トキ}ハ^ハ。衣^イ后^{コウ}代^{ダイ}制^ノ也。

繩 百四十二

易^イハ^ハい^イと^ト云^フ。上^ウと^ト云^フ。繩^{ヘイ}を^ヲ法^{ホウ}で^デ作^{サク}る^ハ。書^{ショ}經^{ケイ}乃^ス序^{ジョ}

伏犧也契と造く。つて後漢の頃、^{ムスフナハカ}又漢ハ大異の帝より出。高氏小史也。燈人氏^{スイジン}の時、繩を結び、^{ムス}あつて割てゆく。伏記とある。燈人氏より始る。

鎖 ^{シヨ} 百四十

戦ふの時、^{セシゴ}張候始く鎖と造る。或云周煥王此^{ニヤクキ}付化^{ツク}の。古今原稿

投壺 ^{トウコ} 百四十

周の世より。古今原稿

紙翫 ^{イカン} 百四十八

俗にこれを風箏と云。古今お傳て云。元漢韓^{カン}信^{シン}が化^{ツク}の。祖の陳旆^{チンキ}を^{セイ}化^{セイ}せし。時韓^{カン}信^{シン}中より起る。人々^{ラフ}紙^シを^シ。即ち^シ中より入て。紙翫を化^{イカン}せし。と云ふ。宋史書に^{ミツウキウ}を^{エニキン}紙^シと云。地陸と穿て^{ウカチ}中より入んとせし。昔より傳つる。不^フく^フ。理^リ或^レ然^ニ。人々^{ラフ}。事物記^シ下曰。漢書志^シ。今の紙翫^{イカン}を^シ。川^シて^シ。小思^{セウニ}は紙翫^シと云。祝^シせし。門^シと^シ。

投子 ^サ 百四十六

漢書卷三 陳惠王曹子建 双陸と制して授子
 二と金。子授子乃始也。潘氏に因國傳り授子此也
 又宋をかざりしものハ。のり。そ。地と宋。我。く。ま
 げんと。そ。を。出。り。敗。と。轉。して。勝。と
 する。あ。の。の。連。れ。呼。て。これ。と。擲。つ。宛。轉
 する。カ。士。の。令。て。回。り。跳。と。轉。入。り。の。宋。と。あ。け。よ
 つ。宋。回。と。云。

球杖 百四十七

宋約會。あ。の。云。球杖ハ。い。や。へ。り。制。り。あ。の。は
 唐。世。より。これ。と。尚。て。玩。樂。と。そ。と。く。

木人 百四十八

仙傳拾遺。よ。回。英。帝。の。長。た。徹。より。始。り。英。帝
 又。の。昇。つ。と。始。り。天。の。昇。つ。と。始。り。あ。の。代。刻。と。帝
 乃。狀。と。り。け。法。侯。と。卒。て。これ。と。始。り。此
 木。代。刻。と。人。の。い。と。始。り。始。也。

金人 百四十九

史記。の。云。范。滂。ハ。越。王。勾。踐。の。相。也。と。て。ふ。會。稽。有

乃配とくきみ湖小後ぶ越王これと慕く。
今代禱ても像と化し海。あられはお金代以
て人代化し句談より始海。

棺槨 百又十

劉向云棺槨の化ハ英帝よりし海。後漢
趙咨云。棺槨此より海よりハ英帝よりし海。
中。英帝の化よりし海。帝。室尤と斬て板槨と
役く。易經辭よりし。英帝堯舜の事よりし。

碑 百又十一

管子云。無懷氏泰山封。るふ刻て四代記
也。秦漢よりこのへ始くるふ刻むと碑と云
石ふ刻むの無懷氏と始と人といふ。厚れ
石ハ秦漢の付よりし海。

銘 百又十二

蔡邕云。英帝の金凡の銘あり。王子年が拾
遺紀云。英帝令よりて墓と海。皆銘題の
也。凡造建とあお代お。皆る年時代記と。は銘
の記かり。

如意
百八十二

如^{ニヨ}是^イ之^ニ由^リ也^ニ。就^{セン}必^{ゴク}此^ト時^キ亦^ア有^タ之^リ。

念珠 百五十粒

漢章帝カシニヤウテイ此時ゴソウ胡ス侯ツク會ハ殊ツクとツクなり一年十二月二

十に氣七十二侯の義よりとりても救もて

一百八あり。古今集始

モクキヨ
木魚 百又十又

隋の世々。偽志林といひーもめ本魚と役く
ズイ ソウ ミリン モクギヨ ラ

寶貨門 第八

金玉 百五十六

管子タニシの云イハレ。玉タマハ禹ウの代ヨ々ヨ起ヲり。金カナハ漢カンより起ヲる。

里珠タマへ赤セキ野ヤ々々。事紀原

錢世二
百八十七

今原始うゑ。女嫡氏ジョクハシの伏義フツギ此時。棘帶キョクタイと袴ハカマ。

ホカ一トカ
介喚あり天日
シツ
内方ありハ地
カタト
象あり。以て

キヤラザワ
サダメ ユラフ
ツラッ
アタ子
アツメ
コレ
カロキヲモキ

錢の始也。事お紀原ふ云。湯タカの時七年旱ヒカリ。

と云。はは五代の漢より始す。事物紀原

寶鈔 百八十八

古今系始う云。元世祖乃時。移代制して鈔と。

元世祖と云う。ては鈔の用よりぬ。金明通記う云。金元よりめて

交鈔と云ふ。漢唐のありはる。



中華事始卷之三

